



新型コロナウイルス 感染症対策

酒井 信幸



問 ワクチン接種をされない方への周知について伺う。

健康福祉部長 広報とホームページでお知らせしています。2月には全戸にリーフレットを配布し、案内しています。

問 教職員のワクチン接種率を伺う。

健康福祉部長 職種別のワクチン接種率は把握していませんが、県の方針でエッセンシャルワーカーに1月下旬から専用の案内を行い、接種が進められています。また、各居住地で接種しているものと考えています。

問 政府は3回目ワクチン接種対象者全員の完了に向け、新たなワクチン配送計画を示した。今後、市の計画は早まるのか。

健康福祉部長 ワクチン接種については国の接種間隔の前倒し方針を踏まえ進めています。今後、国のワクチン供給を踏まえ、早期の接種を検討していきます。

問 オミクロン株が主流となり、感染者が増えてきた場合の授業体制や登校の仕方を伺う。

学校教育課長 感染拡大の恐れがある場合は、オンラインによる家庭学習の日を設定して、児童生徒同士の接触を減らし、感染拡大の防止に努めます。

問 小中学校の学級閉鎖、学年閉鎖、臨時休校の判断基準は、誰が決定するのか。

学校教育課長 学校保健安全法で、学校の設置者は、感染症の予防上必要があるときは、臨時に学校の全部または一部の休業を行うことができるのとあります。決定は学校の意見を取り入れ、最終的に設置者の教育委員会が判断します。

迅速な経済対策とはなに

問 市長の施政方針で、市民の皆様様の生活を守ることを最優先事項として感染症対策、経済対策に取り組みますと述べているが、どのような経済対策を行うのか。

市民経済部長 感染の急拡大で市内事業者にも影響が出ていますので、給付金のような対策を今議会中に追加補正で提案することを考えています。



子育て支援と対策

大村 晃一



問 令和4年度の予算案で、(仮称)岩沼西子育て支援センター工事が新規の取り組みとして盛り込まれているが、施設の全体像を伺う。

子ども福祉課長 1階にフリースペース、相談室、授乳室を設け、2階には、屋内遊戯スペースと講習会や子育てサロンなどを行える場としてのスペースを設けます。また、エレベーターを設置したいと考えています。

幅広い年齢の遊戯施設を

問 未就学児の遊戯施設が整っていくのは素晴らしいが、未就学児と小学生児童などを共に育てている家庭も多い。そのような家族構成でも、一緒になって遊ぶことができるように、幅広い年齢の子どもたちが安心して屋内外で遊べる施設整備も必要と考えるがどうか。

健康福祉部長 すぐには難しいですが、ハナトピア岩沼の在り方検討委員会で、子どもたちの遊び場や高齢者の散策などができる施設の答申がありましたので、今後検討を考えていきます。

討を考えていきます。

問 ハナトピア岩沼は駐車場があり、屋外もフェンスで囲まれて、良いと思っている。外はもっと自由に遊べるように改修工事を行い、屋内は大型遊具の部屋や乳幼児を対象にした部屋を設けるなど、幅広い年齢層の子どもたちが遊べるように改修を行えば良いと思うが、見解を伺う。

市長 研究はしていますが、財源の問題等々があります。まずできるところからやっていくということ、基本構想づくりをスタートしています。本場にいい場所だと思っているので、有効活用していきたいと思っています。

問 岩沼市の一時預かり受け入れ開始対象となる子どもたちの条件は、離乳食をほぼ終えた子どもとなっているが、多くの自治体では離乳食を終える前から受け入れを開始している。受け入れ対象となる子どもの時期を早めてはどうか伺う。

子ども福祉課長 預かりができる方向で、いろいろな検討していきたいと思っています。